

施策	13	新しい力による新しい産業づくり				政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	
施策主管課	産業振興支援課		課長名	篠田喜代志	内線	3510	政策担当部長名	産業経済部長 高田 修	
施策関係課名	産業振興支援課、工業課、農業課、観光課、商業・市街地活性化課、金融政策室								
重点施策	○	関連計画	地域経済活性化プログラム、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、飯田市農業振興地域整備計画、飯田市酪農・肉用牛生産近代化計画、名勝天竜峡保存管理計画、名勝天竜峡整備計画、飯田市工業用地選定方針、飯田市森林整備計画						

1 施策の目的

目的	対象	事業者、従業員	
	意図	①多様な連携により新たな経済活動を創出する ②企業立地、起業・就職できる	

2 現状把握

(1) 対象指標、成果指標の状況

対象指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み 28年度
①	工業統計による事業所数	所	338	323	345	未確定		330
②	事業所従業員数（工業統計）	人	10,172	10,560	10,224	未確定		10,100
③	農家戸数(5年に1回公表)	人	5,349	5,021	-	-		4,800
④	地域産業	種	6	6	6	6		6
成果指標 ※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標 28年度
①	新規就業者数(新卒のみ)	人	567	581	632	696		720 700
②	新規立地・拡張企業の件数 (工業課で補助金を出したもの)	件	4	2	3	7		4
③	U, Iターン者数 飯田下伊那 (キャリアデザイン室取扱件数)	人	50 (47)	29 (60)	(45)	(52)		130 (80)
④	開発された観光プログラム数(累計)	個	195	201	206	219		250
⑤	既存事業者の消費額(観光) 飯田下伊那	億円	113	102	103	98		129
⑥	海外チャレンジ事業による新規商談成立商品数(累計)	品	49	57	67	74		92 25
⑦	粗付加価値額(工業統計) 飯田下伊那	億円	1,212	1,289	1,304	未確定		1,391
⑧	新規就農者数	人	35	24	10	8		20

(2) 成果向上に向けての役割分担

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度実績	24年度	25年度	目標28年度
行政	市(国・県)	○人材誘導事業(総合窓口、情報発信など) ○企業立地誘導 ○起業支援 ○事業者と連携した取り組み(情報提供) ○公共施設への地元産品の積極的活用とPR	①情報発信数(結いターンブログアクセス数)	① 26,759	35,498		35,000 40,000
			②人材誘導窓口対応件数(結いターン室資料)	② 131	158		250
			③就職ガイダンス参加企業数(参加者数)(累計:ハローワーク等資料から集計)	③ 41 (217)	49 (241)		50 (300)
			④企業訪問数(工業課資料)	④ 130	141		120
			⑤起業支援事業者数(商業・市街地活性化課、金融政策室資料)	⑤ 30	18		45
			⑥起業講座等数(参加者数)(商業・市街地活性化課、金融政策室資料)	⑥ 20 (351)	18 (355)		3 (50)
			⑦補助制度等の利用者数(商業・市街地活性化課、金融政策室資料)	⑦ 8	10		10

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項
市民等	個人	○子育て世代が飯田へ帰ってくるように働きかける。飯田の情報を伝える	飯田に戻った人数 情報発信した回数	・浜松市の川下り事故による風評被害払拭のため、飯田観光協会が中心となり川下りイベント等を実施した。 ・体験旅行、産地ツアーの受け入れは、南信州観光公社が中心となり、多くの団体と連携し実施している。
	事業者	○他の事業者との連携を進める ○起業、事業拡大 ○採用活動	○他の事業者との連携事業数 ○起業、事業拡大に向けた取り組み数 ○事業者の求人数	
	経済団体(観光公社、商工会議所、農協等)	○事業者の連携促進 ○起業、就業の援助、情報提供 ○人材の紹介 ○事業者と連携した取り組み、支援	○連携事業に取り組んだ数 ○人材等の紹介数 ○起業等の講座数 ○研究会等の開催数 ○協会等新規加入者数 ○観光協会等新規加入者数(ヒアリング調査等)	

3. 平成24年度の評価結果

(1) 実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

- 計画どおり取り組めた
- おおむね計画どおり
- あまり取り組めなかった
- 達成できなかった

(2) 施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

- 進んだ
- ある程度進んだ
- あまり進まなかった
- 進まなかった

4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

「多様な連携により新たな経済活動を創出する」「企業立地、起業・就職できる」を意図として、新しい産業づくりや人材誘導に取り組んできた。特に産業センターを核とした新産業クラスター事業などで新たな分野への取り組みを実施した。また、雇用対策としてUIターン者人材バンク事業もスタートした。施策全体としては、新たな分野の取り組みを積極的に行い成果も出てきていることから、進んだと評価する。

【事務事業群テーマ別の評価】

< 起業の支援 >

・起業家育成実践講座及び補助制度により、起業家の育成・支援を行った。また、創業支援資金により、起業者の起業準備や経営安定に向けた資金繰りを支援した。
・小学生、高校生、一般を対象に各種講座等を開催し、多くの参加をいただく中で次世代の人材育成に取り組んだ。

< 新製品・新分野への挑戦の支援 >

・新産業クラスター事業及び三遠南信連携促進事業、ものづくり製品開発事業では、専門コーディネーターを継続配置しながら、航空宇宙産業や環境産業のプロジェクト活動を積極的に展開しており、新技術・製品開発や取引拡大につながっている。

また、補助金等を積極的に活用し、設備投資の促進や人材の育成、海外への販路開拓に取り組むことができた。

<企業・人材の誘導>

- ・厳しい就職状況の中、結いターンキャリアデザイン室をはじめキャリア教育・フィールドスタデー等の事業により、UIターン者や地元出身の大学生・高校生の地元就職が多くなった。
- ・平成24年度から国の青年就農給付金制度が始まり、市内でも13組、18名の新規就農者が補助対象となった。しかしながら、新規就農者誘致は全国各地で進められており、また、農業法人への就職型就農も増加するなか、新たな担い手確保に向けての積極的な取組が必要となっている。

<連携による新価値づくり>

- ・まちなか歩きの提案、ガイドマップの作成とガイドツアーを行った。飯田観光協会と協同し観光プラン作りワークショップをスタートさせた。観光事業者を中心に新たな旅行商品の造成に向けた取り組みを進めてきている。
- ・ツアーオブジャパン南信州ステージを2年ぶりに開催した。
- ・遠山郷では、ハイランドしらびそへの御池山クレター資料展示、梨元ていしゃば整備、ライブカメラの設置、遠山郷観光協会体制強化補助等を行った。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

<起業の支援>

- ・地域経済の活性化には、起業や新事業の創出は不可欠であり、関係機関と連携しながら起業支援を推進する。
- ・個人商店を対象とした販路拡大のための講座や新たなツールを活用するための講座等を開催していく。

<新製品・新分野への挑戦の支援>

- ・健康長寿社会を支える新たな地域産業の創造を行政、企業、農業関係者、医療機関、大学等の連携により、健康医療産業のクラスターを立ち上げ、食品系・医療機器系の2つの分科会を設け活動を展開する。

<企業・人材の誘導>

- ・昨年作成したイメージキャラクター「ゆいたん」を活用し、定住政策を強化する。
- ・首都圏等で開催される農業意欲がある方に向けた就農相談会等に参加しながら、ワーキングホリデー等の体験農業による就農へのきっかけ作りを推進し、今後も新規就農者の誘致に積極的に取り組んでいく。

<連携による新価値づくり>

- ・飯田観光協会の体制強化を行い、観光協会と協同した観光振興を進める。